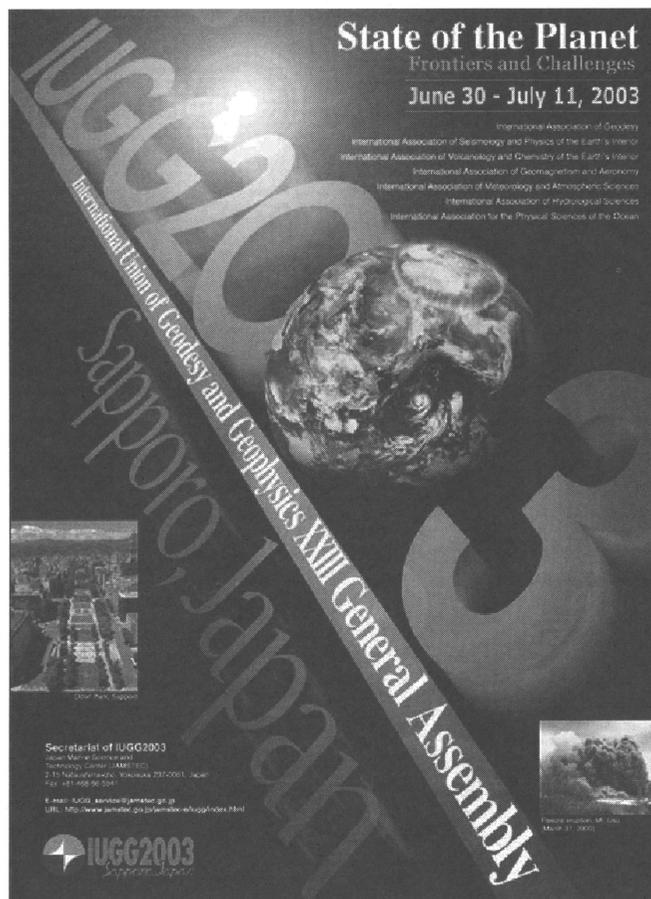




第23回国際測地学・地球物理学連合総会のセッションテーマ決まる



2003年6月30日～7月11日

札幌市

主催

日本学術会議

日本測地学会, (社)日本地震学会, 日本火山学会, (社)日本気象学会, 地球電磁気・地球惑星圏学会, 水文・水資源学会, 日本水文科学会, (社)日本雪氷学会, 日本海洋学会, 日本惑星科学会, 日本陸水学会, (社)土木学会, 日本地下水学会, 日本温泉科学会, (社), 砂防学会, 日本地球化学会

後援

文部科学省 (予定), 経済団体連合会, 海洋科学技術センター ほか
ホームページ: <http://www.jamstec.go.jp/jamstec-e/iugg/>

IUGG (International Union of Geodesy and Geophysics) とは

IUGG は1919年に設立された国際的、学際的、網羅的な非営利組織で、地球・惑星科学研究及びその国際的な発展の促進を目的とする国際学術団体です。その研究領域は、地球の形、地球重磁力場の性質、地球のダイナミクス、地球内部構造・組成・テクトニクス、マグマ形成、火山・岩石学、雪氷を含む水文学、海洋物理・化学、大気圏・電離圏・磁気圏と太陽-地球相互作用、そして比較惑星学と、極めて多岐にわたっています。また人工衛星や高緯度観測による研究も奨励されています。

現在76カ国が加盟、傘下に7つの学会(測地学、地震

学・地球内部物理学、火山学・地球内部化学、地球電磁気学・超高層物理学、気象学大気科学、水文科学、海洋物理科学)を擁しています。また、我が国におけるIUGGの対応組織は、日本学術会議地球物理学研究連絡委員会であり、この下に、日本測地学会、日本地震学会、日本火山学会、日本気象学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、水文・水資源学会、日本水文科学会、日本雪氷学会、日本海洋学会、日本惑星科学会、日本陸水学会、土木学会、日本地下水学会、日本温泉科学会、砂防学会、日本地球化学会が結集して緊密な連絡を取っています。

IUGG2003年総会 アジア初 札幌で開催

IUGG 総会は、1922年に第1回がローマで開催されて以来、4年に1回、世界各地で開催されており、最近ではボルダー(米国コロラド州、1995年)、バーミンガム(英国、1999年)で行われました。このたび、第23

回の総会がアジアで初めて日本(札幌市)で開催されることが正式に決定され、組織委員会が中心となって準備を進めています。

科学プログラム

本総会では、各学会固有のセッションに加えて約60ものジョイントが予定されています。特に学際的な統一テーマに沿うものとして、以下のセッションが提案されています：

- (1) 予測・予知とその可能性
- (2) 火山性島弧の揮発性物質：沈み込むスラブから成層圏まで

- (3) 地球システムと環境変動
- (4) 地球物理学的災害と人口過密都市の持続力
- (5) 地球内部の構造とダイナミクス
- (6) 地球を測る新しいセンサー：何が可能か
- (7) IUGG の歴史
- (8) 地球科学：その未来

主な日程

2002年4月 セカンドサーキュラー
2002年夏 サードサーキュラー
2003年1月 講演要旨受付締切

2003年2月 参加登録締切
2003年6月30日～7月11日 IUGG2003開催

セッションの予定テーマ (ジョイントセッションのみ)

経年的、遷移的、周期的地殻変動とその地球物理学的意味付け
重力場モデリングの伸張をもたらす学際的地球科学研究
リモートセンシングによる学際的科学研究—
レーダー高度計、ATSR、SAR、海色、その他センサーの利用

雪氷圏のリモートセンシング
地下水と火山
海洋、汽水、淡水域におけるハイポレイックフローとその生物地球科学的影響の定量化
大気・水文モデルにおける雪氷過程の表現
より良い水資源マネジメントにおける GEWEX 水文気象学の役割

中間圏、熱圏、電離圏内の長期傾向
 中間中層大気および電離圏へ与えられる外力
 赤道における中層大気—熱圏—電離圏の運動とエネルギー論
 宇宙天気
 地震、火山、地殻変動に伴う電磁気現象
 地震学、電磁気学、重磁力の研究を基にした地殻構造モデル
 気候変化への太陽の変動の影響
 下層および上層からの力による汎地球変動の解明
 火山や活断層地域の電磁気学的イメージングとモニタリング
 国際深海掘削計画 (ODP) の20年
 火山活動と地球大気
 洪水玄武岩の活動
 定量的火山地震学の最近の伸展
 萩原シンポジウム：地震・火山噴火予知のためのモニタリングとモデリング
 最近の被害地震
 海における長期観測と長期観測施設
 地球内部の熱構造と熱過程
 地球内部物質の物理と化学
 地球の構造とダイナミクス
 津波の科学、工学的応用と防災
 地震の短期予知は可能か？
 地下の熱的痕跡から探るテクトニクス、流体移動、古気候
 気候モデルと地球システムモデルの高分解能化に向けて
 海洋表層と下層大気の研究
 沿岸域の陸—海洋—大気相互作用
 地球の生態系、大気組成、及び気候

中層大気および電離層における太陽の影響
 中間圏界面付近の層状の現象
 大気への GPS 手法の応用
 中間圏・下部熱圏領域のエネルギー論と大気循環およびその上層と下層の循環・化学過程とのカップリング
 小スケールから惑星スケールの激しい渦
 雪氷圏と気候の相互作用
 海面上昇、気候変動と極氷床の安定性
 雲と気候モデルにおける降水過程
 大気と海洋過程のためのデータ同化
 激しい気象現象の力学と予測可能性
 中谷—孫野記念スペシャルセッション：氷晶と雪の成長
 極域における物質交換に果たす大気過程の役割
 地球流体力学における混合過程とそのパラメタリゼーション
 降水の測定と分布
 水・エネルギー収支に関するワークショップ
 大気海洋の十年から百年スケールの変動
 熱帯域大気海洋結合力学の新しい側面とその予測性
 陸水の海洋への流入
 北極域環境変化
 世界規模での海水面変動
 全球海洋観測システム
 沿岸海洋観測システム
 沿岸過程と高潮
 大気海洋相互作用の物理的側面
 回転成層流体
 自然災害の危険性と人類の脆弱性：人類と災害の関わり合い

(注：本稿は IUGG 2003 LOC 作成資料に基づく)



一覧表

平成14年度気象研究所研究発表会のご案内..... 762
 教官 (東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻) の公募..... 772
 TRMM (熱帯降雨観測衛星) 5周年記念国際シンポジウム「宇宙から見た地球環境—
 水循環観測を中心にして」のお知らせ..... 786
 教官 (東京学芸大学地学科) 公募..... 796
 第4回「明日への環境賞」(朝日新聞社) 応募推薦募集 807
 (財)国際コミュニケーション基金平成14年度助成・援助募集..... 807